

## 2022 年度末報告書（実行団体）

- 提出日 : 2022年 4月 13日
- 事業名 : 地方における道立高校の存続と人口減少化の課題に対する若者世代への啓蒙とスキル育成
- 資金分配団体 : 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド
- 実行団体 : 特定非営利活動法人いきたす

### ① 実績値

#### 【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況 *
アウトプット No.0.1 組織基盤強化（学生組織）	コロナ禍にて組織力低下が起きたが、それを復調させる。学生登録数の確保。参加者数及びサンプリング保持者数の確保。企画力やリーダーシップを発揮できる学生の育成	スタッフ経験者数、サンプリング保持者数、リーダー研修参加経験者数	1～3年目	思った以上に数字が上がってこない。受身的な学生が多く、主体性を発揮する学生スタッフの存在が希薄で、苦勞が多い。供給力のアップが見込めない。現状維持プラスαぐらいの状況。	3
アウトプット No.0.2 組織基盤強化（スタッフ育成）	有効な外注者もしくは連携パートナーの発掘。 将来職員になる人の発掘。	連携パートナー；2～3カ所 将来の職員数2～3名	1～3年目	連携箇所が増えそうな勢い。まだまだコミュニケーション不足だが、確実に広がるといえる。	2

アウトプット No.0.3 組織基盤強化（情報発信力）	本事業の取り組みを対外的に紹介することにより、プロジェクトそのものが促進される。ホームページの作成等の媒体づくり。	カタリ場実施数、年30回 自治体高校連携状態、道内5カ所+α	1～3年目	標茶町との協定が結べたのは大きな成果。福島町とのやりとりは単年度で一旦区切りとなった。平取町では魅力化の会が立ち上がり動き始めている。深川市では市長交代により動きがまもなく始まりそうだ。	2
アウトプット No.1.0 カタリバの授業の導入	実施校数、及び受講生徒数	初開催をした。もしくは数年ぶりに開催をした。	1～3年目	新規開催高として、上ノ国高校、松前高校、札幌日大高校、七飯高校と実施できた。	2
アウトプット No.1.1 カタリバの授業の次年度開催へ	実施校数、及び受講生徒数	開催3年間の実施を確保した状態。	1～3年目	3年ぶりに、岩内高校、上士幌高校、標茶高校、砂川高校、石狩南高校が開催。コロナからの回復傾向が見られた。	2
アウトプット No.1.2 カタリバの授業の定着化	実施校数、及び受講生徒数、学校の運営体制の変化	学年行事化から、分掌担当に切り替わる。	1～3年目	特に進展はない。	3
アウトプット No.2.0 探究の授業の相談	相談件数と相談の内容	総合の時間から探究の時間へのシフト（探究を理解していない教員が理解する）	1～3年目	札幌西高内での深まりが出てきたが、他校から数件の相談がきた程度で、特に活発的な動きは起きていない。	3

アウトプット No.2.1 探究の授業の支援	授業の一部を構築、実施。もしくはカタリ場の授業を導入する過程 (No.1.0,1.1,1.2)を包括することにもなる。全国高校生マイプロジェクトアワードエントリー数が上がる。	カリキュラムコンテンツが、少しずつ有機的に結びついていく。教員間で他者と協力し設計段階から関わってもらう意思決定がなされる。	1～3 年目	前年度とほぼ同じ程度で推移している。札幌西高では、マイプロエントリーが、3つの取り組みを輩出。 他の地方や学校視察を積極的に行い、今後を見据えた情報収集活動を行った。	2
アウトプット No.2.2 探究の授業の設計や構築	学校のカリキュラム設計がアウトソーシングされる。カリキュラム設計時に、他者が関わる。		1～3 年目	11月下旬より、北海道大学産学・地域協働推進機構との話し合いが生まれ、高校の探究の授業に協力できる体制づくりを進めた。2023年度からスタートの予定。	1
アウトプット No.3.0 教員や行政機関への研修等	「探究の授業」等について、教員の理解が深まり、活発的な研修機会が増えていく。継続して学び続ける姿勢や時間が確保される。	研修が実施され、研修参加者の満足度が高く、カリキュラム実践になんらかの影響がで始める。	1～3 年目	北海道教育委員会の事業「Classプロジェクト」において、コーディネーターの利活用について相談がくる。次年度の研修や後継事業設立に向けて、協議が始まっている。	1
アウトプット No.3.1 学校の組織基盤強化	コミュニティースクールの導入、もしくは関係分掌の整理設立、それに代わる会議等の設置。	会議等の意味がなされ始め、本格的に学校経営改革が始まる。一部の教員から組織内に役割や責任が良い方向で分散される。	1～3 年目	平取町では、11月に「平取高校の魅力化を図り存続させる会(会長;平取町長)」が立ち上がり、アドバイザーに代表理事が就任。2023年度末まで様々な取り組みや提言・立案がはじまる。 北海道福島町では、3回の住民とのワークショップを開催。教育振興計画の作成に動いたが、途中から町教委の方針が変わり、一旦中断となった。	1

アウトプット No.3.2 学校コーディネーターの配置	自治体が予算を確保し、地元高校との協議の末、ポスト作りを開始して、公募等が始まる状態。	2つ以上の高校に設置される。	2~3 年目	北海道平取町では、2024年度から設置を見据えた検討が開始され始めた。	2
アウトプット No.3.3 コーディネーターの利活用	コーディネーターが、学校組織内等でどのように活躍していくか。	学校内で順応しつつ、カリキュラムマネジメントまで担えるような状態(No.2.1)。	3年 目	北海道福島町では学生寮が設置され、ハウスマスターが就任。これに伴いコーディネート機能も担うため、教育進行計画作りでの流れをボタンタッチした。	2
アウトプット No.4.0 マイプロジェクト北海道大会の基盤作り	北海道地方独自の大会を創設すべきかどうか。	独自大会を設置するとなれば、その運営基盤を整える。	3年 目	2023年度(第11回)開催の大会にて、資金獲得や実施支援団体の獲得の目処がついた。	2

\*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

## ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値

### 3. (任意) 活動に関する報告

前年度に引き続き、コロナによってできることとできないことがあったが、半分ぐらい回復傾向が見られてきた。そのため、様々な段階によるコミュニケーションを加速化させ、新たな展開を生み出す苦しいのが、徐々にその成果の芽が出始めている。

## ③ 広報に関する報告

### 1. シンボルマークの使用状況

- 自団体のウェブサイトに表示している     広報制作物に表示している  
 報告書に表示している     イベント実施時に表示している     その他  
→ 「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

### 2. 広報

#### 1. メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）

2022/8/5 北海道新聞 町の教育 大学生と考える 福島 推進計画策定へ町民らと会合開始

2022/8/23 北海道新聞 標茶高「カタリ場」継続へ 町など5者連携協定

2022/9/21 北海道新聞 夢や悩み 大学生に相談 上ノ国 高校生参加し「カタリ場」

2022/10/8 北海道新聞 夢や進路の悩み大学生から助言 芦別高で「カタリ場」

2022/11/12 北空知新聞 深川西高で「カタリ場」大学生が進路選択控える高2生にアドバイス

2023/2/26 北海道新聞 進路や夢 悩みを大学生に相談 七飯高で「カタリ場」

2023/4/6 北海道新聞 平取高の魅力、どう高める？ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング研究員が講演

#### 2. 広報制作物等

作成していない

#### 3. 報告書等

特に作成していない

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

2022/10/12

NoMaps EDU 北海道の未来を考えると、教育界とどう向き合うか

NoMaps EDU 令和の教育改革と GIGA スクール構想の展望

2023/3/24

平取高校と地域の未来を考えるフォーラム 開催

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）



10月1日 福島町でのワークショップの様様



2月24日 北海道七飯高校でのカタリ場後の集合写真



3月16日 札幌龍谷高校でのカタリ場の様子



3月24日 平取町での高校存続に関するフォーラム

#### ④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 整備中
2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
<input type="checkbox"/> 全て公開した <input type="checkbox"/> 一部未公開 <input checked="" type="checkbox"/> 未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：変更していない。

#### ⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIA の窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。(実施済みの場合含む)
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：